

**高画質と小型化を両立した業務用 4K ビデオカメラ “XF605” を発売  
AF・通信機能の強化や操作性の拡充により幅広い撮影シーンに対応**

キヤノンは、ズーム/フォーカス/アイリスの独立3本リングを搭載した業務用ビデオカメラ「XF」シリーズの新製品として、1.0型 CMOS センサーを搭載し、4K/60P/4:2:2/10bit/HDR の映像を SD カードに記録可能な “XF605” を 2021 年 10 月下旬に発売します。



XF605

“XF605”は、業務用ビデオカメラ「XF」シリーズのフラッグシップモデル「XF705」（2018年11月発売）と同等の高画質を備えながら、小型化による機動性向上を実現しています。さらに、AF 機能やネットワーク連携機能の強化により、即時性が求められる報道に加え、機動性が求められるワンマンでのドキュメンタリーやインタビュー撮影など幅広いシーン、撮影スタイルに対応します。

**■ 高画質な映像撮影と小型化を両立**

優れた光学性能を持つ「L (Luxury) レンズ」、1.0型 CMOS センサー、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV7」の搭載により、4K/60P/4:2:2/10bit/HDR の高画質な映像に加え、フル HD 撮影時は最大 120P のハイフレームレート動画が撮影可能です。さらに、「XF705」と比較して、質量 25%以上（600g 以上）の軽量化と全長・高さ 10%以上の小型化を実現し、高画質と機動性を生かした撮影が可能です。

**■ 快適な撮影を実現する多彩な AF 機能と操作性**

各画素が撮像と位相差 AF を兼ねる「デュアルピクセル CMOS AF」により、高速・高精度な AF が可能です<sup>※1</sup>。また、業務用ビデオカメラ「XF」シリーズで初めて、瞳検出と頭部検出を搭載し、従来の顔検出に加え、より高精度で安定した被写体検出・追尾を実現します。さらに、タッチパネルでのメニュー操作対応と再生モードでの操作拡充により、直感的な操作を実現します。

**■ 撮影ワークフローをサポートするネットワーク連携**

新たに公開する iOS 専用のモバイルアプリ “CTM<sup>※2</sup>” を使用することにより、“XF605” と有線<sup>※3</sup>/無線接続した iOS 端末に、撮影した動画やメタデータを取り込み、放送局などのサーバーへ FTP 転送することができ、放送までのワークフローを高速化・効率化することができます。

製品名	希望小売価格	発売日
XF605	オープン価格	2021年10月下旬

※1 測距エリアは、画面の最大約 80%（縦）×約 80%（横）の範囲。

※2 Content Transfer Mobile の略。2021年10月下旬に有償で公開予定。対応機種は今後順次拡大する予定。

※3 有線接続の場合は、通信に対応した USB ケーブルが別途必要。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター

050-555-90004

● 業務用ビデオカメラホームページ : [canon.jp/prodv](http://canon.jp/prodv)

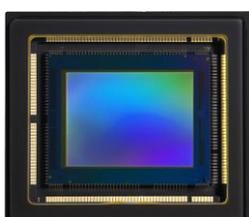
## <主な特長>

### 1. 高画質な映像撮影と小型化を両立

- 優れた光学性能を持つ「L (Luxury) レンズ」、1.0 型 CMOS センサー、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV7」の搭載により、4K/60P/4:2:2/10bit/HDR の高品位な映像を撮影可能。
- フル HD での撮影時、120P/100P のハイフレームレート撮影に対応。
- レンズ部には、2 枚の非球面レンズと、1 枚のスーパーUD レンズ<sup>※1</sup>を採用し、優れた光学性能を持つ「L レンズ」にふさわしい高画質を実現。4K 対応の光学性能と焦点距離 25.5-382.5mm<sup>※2</sup>の光学 15 倍ズームを両立。ワイドアタッチメント「WA-U58」やテレコンバーター「TL-U58」（ともに別売り）と組み合わせることで、さらに広域の焦点距離をカバー<sup>※3</sup>。
- HDR 方式は、「HLG (Hybrid Log-Gamma)」と「PQ (Perceptual Quantization)」の 2 つの方式を用途に応じて選択可能。



L レンズ



1.0 型 CMOS センサー

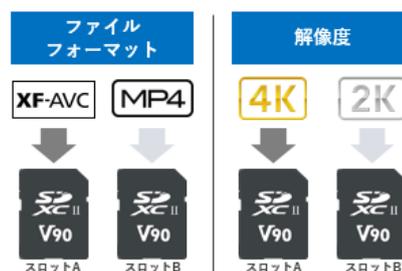


DIGIC DV7

- 業務用ビデオカメラのフラッグシップモデル「XF705」と同等の高画質を実現しながらも、質量 25%以上 (600g 以上) の軽量化と全長・高さ 10%以上の小型化を実現。高画質と機動性を生かした撮影が可能。
- 放送規格準拠の MXF<sup>※4</sup>を採用したキヤノン独自のビデオフォーマット「XF-AVC」と、汎用性の高いビデオフォーマット「MP4」に対応。撮影用途に応じて使い分けが可能。
- ファイルフォーマットや解像度、フレームレートなど異なる形式の映像を、2 枚の SD カードへそれぞれ同時に記録可能。バックアップや目的に合わせて使い分けができるため、撮影後のデータ編集の作業負担を軽減。
- 広いダイナミックレンジを持ち、階調の調整などポストプロダクション処理が容易な「Canon Log 3」を搭載。
- 事前に好みの色合いや明るさを設定可能な「Custom Picture」に、「EOS Standard」と「EOS Neutral」を追加。



「XF705」との大きさの比較



異なる形式での記録イメージ

- スタンダードモード/ダイナミックモードと、パワード IS (ON/OFF) の 4 種類を組み合わせることで、シーンや被写体に応じて効果的な手ブレ補正制御を実現。
- 回転式のターレット方式を採用した ND フィルターを内蔵。異なる 3 濃度を使い分けることで、多彩な映像表現が可能。

※1 UD (Ultra low Dispersion=特殊低分散) レンズの性能を大幅に向上させ、UD レンズ 2 枚分、蛍石の特性とほぼ同等の効果を備えたレンズ。

※2 35mm 判換算。

※3 「WA-U58」装着時は焦点距離 0.8 倍、「TL-U58」装着時は焦点距離 1.5 倍。

※4 Material Exchange Format の略。SMPTE (Society of Motion Picture and Television Engineers : 米国映画テレビ技術者協会) 規格で定義されているビデオフォーマット。

## 2. 快適な撮影を実現する多彩な AF 機能と操作性

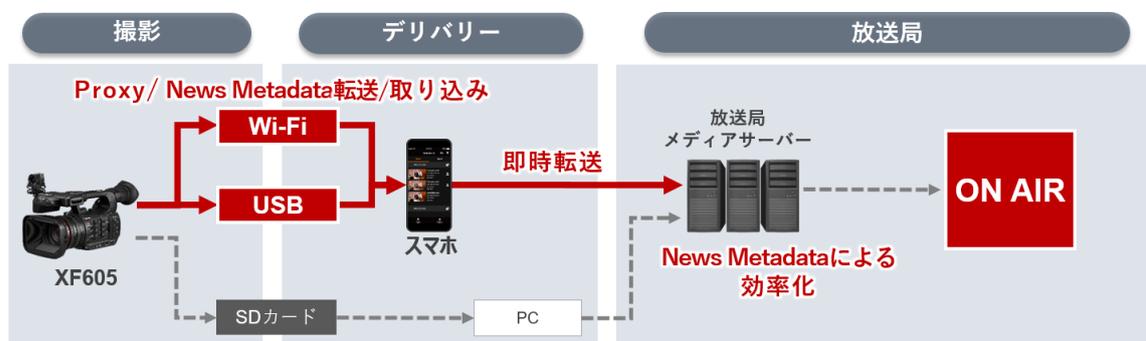
- ・各画素が撮像と位相差 AF を兼ねる「デュアルピクセル CMOS AF」により、画面の最大約 80%（縦）×約 80%（横）の範囲で高速・高精度な AF を実現。
- ・業務用ビデオカメラ「XF」シリーズで初めて瞳検出と頭部検出を搭載。従来の顔検出に加え、より高精度で安定した被写体検出・追尾を実現。
- ・タッチパネルで撮影操作が可能な「Direct Touch Control」が、メニュー操作にも対応。直感的な操作で快適な撮影を実現。
- ・動画再生画面におけるタッチ操作を新たに拡充。従来の再生・停止に加え、シークバー上での自由な再生位置選択や早送り、早戻しなどを追加し、利便性を向上。
- ・液晶モニターと電子ビューファインダー（EVF）での映像同時出力に対応。また、HDMI と 12G-SDI 接続での映像同時出力にも対応。



動画再生画面でのタッチ操作拡充

## 3. 撮影ワークフローをサポートするネットワーク連携

- ・新たに公開する iOS 専用のモバイルアプリ“CTM”を使用することにより、“XF605”と有線/無線接続した iOS 端末に、撮影した動画やメタデータを取り込み、放送局などのサーバーへ FTP 転送することができ、放送までのワークフローを高速・効率化。IPTC（International Press Telecommunications Council：国際新聞電気通信評議会）が定めた、撮影に関するメタデータ「News ML-G2」もモバイル端末上で編集・書き込みが可能。



モバイルアプリ“CTM”を用いたワークフローイメージ

- ・キヤノンが開発中のミラーレスカメラ「EOS R3<sup>※1</sup>」と共通の新しいマルチアクセスアーキテクチャを採用。ティアック株式会社が開発中の XLR マイクアダプター“CA-XLR2d-C<sup>※2</sup>”（別売り）を接続することで、“XF605”本体での音声入力と合わせて最大 4 チャンネル全てで XLR 入力が可能となり、柔軟な音声記録ワークフローを実現。
- ・キヤノン独自のシリアル通信制御プロトコル「NU プロトコル」に対応。コントローラーなどの周辺機器との接続ができ、カメラコントロールや画質調整など、リモートでの制御を実現。
- ・Web ブラウザからリモート操作が可能な「Browser Remote」を刷新<sup>※3</sup>。スマホ向けの新しいレイアウトや、より詳細なコントロールコマンドを表示できるなど機能を拡充し、ワンマン撮影などをサポート。
- ・USB 通信の標準規格「UVC（USB Video Class）」と、USB 接続で画像を転送する規格「PTP（Picture Transfer Protocol）」に「XF」シリーズで初めて対応。PC とビデオカメラ本体を USB ケーブルで接続し、WEB 会議用のカメラとして使用可能。

※1 詳細は、キヤノン公式 HP (<https://cweb.canon.jp/eos/your-eos/product/eosr/r3/>) をご参照ください。

※2 詳細は、2021 年 8 月 18 日のティアック株式会社の報道発表をご参照ください。

※3 今後無償で提供予定のファームウェアにて対応。

### **<業務用ビデオカメラの市場動向>**

日本では 2018 年 12 月より新 4K8K 衛星放送が開始し、他の先進国でも 4K 放送の実用化に向けた取り組みが始まっています。また、映像コンテンツの制作現場では、高画質に加えたさらなる付加価値として、ワークフローを効率化・省人化するネットワーク連携や、機動性を強化したカメラへのニーズが高まっています。(キヤノン調べ)

### **<主な製品仕様>**

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

\* IOS は、米国およびその他の国々における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。